

Express5800 シリーズ  
UPS 接続構成における冗長電源設定について

日頃より、弊社 Express5800 シリーズをご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。

以下に記す対象装置を無停電電源装置(以降、UPSと記す)に接続して運用しているときに、UPSに接続された装置が電源オフとなる事象が発生する場合がありますが確認されております。

以下の対策を実施いただけますようお願いいたします。

1. 対象装置

下記の(条件1)と(条件2)の両方を満たす、2019年5月以前に出荷した以下の装置

Express5800/R120h-1M、R120h-2M、R120h-1E、R120h-2E、T120h

iStorage NS500Ri

(条件1)

N8181-160 電源ユニット[800W/Platinum] を冗長電源構成で搭載している。

(条件2)

ラインインタラクティブ方式(常時商用給電方式)のUPS(※1)を使用しており、かつ冗長構成の電源ユニットの両方を同一のUPSに接続している。

※1 対象装置でサポートしている下記のUPSが該当します。

(3000VAを超えるUPSは給電方式が異なるため対象外です。)

N8180-66	無停電電源装置(1000VA)
N8180-67	無停電電源装置(1500VA)
N8180-69	無停電電源装置(750VA)
N8142-100	無停電電源装置(1200VA)
N8142-101	無停電電源装置(1500VA)(ラックマウント用)
N8142-102	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)
N8142-103	無停電電源装置(2400VA)(ラックマウント用)
N8142-106	無停電電源装置(AC200V:3000VA)(ラックマウント用)
N8142-108	無停電電源装置(750VA)(ラックマウント用)

2. 発生事象

UPS接続して運用する場合に、対象装置への給電が、停電やUPSのセルフテスト実行に伴い、UPS内部のバッテリーから行われる状態へと切り替わる際、UPSに接続されている対象装置及び、UPSに接続されている他の機器が電源オフとなる場合があります。

3. 対策方法

サーバ起動時に<F9>キーを押しシステムユーティリティを起動した後、「System Configuration」→「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」→「Power and Performance Options」→「Advanced Power Options」から以下の設定を変更してください。

「Redundant Power Supply Mode」を「High Efficiency Mode (Auto)」に設定してください

(デフォルト設定は「Balanced Mode」です)

•High Efficiency Mode (Odd Supply Standby)または、High Efficiency Mode (Even Supply Standby)に設定されているお客様は上記の変更は不要です。

•Redundant Power Supply Mode の詳細はメンテナンスガイドをご参照ください。